

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川小瀬川水系 小瀬川支川6通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 ダム・溜池

ボーリング名	No.3	調査位置	広島県大竹市木野二丁目		北緯	34° 13' 10.5232"	
発注機関	広島県西部建設事務所 廿日市支所			調査期間	令和5年 2月25日～ 令和5年 2月28日		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	TP 28.84m	角	180° 上 0° 下 0°	方			
総削孔長	9.03m	度	0°	地盤勾配	27° 鉛直 90°	使用機種	試験機 東邦地下工機 D1-B50型 エンジン ヤンマー NF 110型 ポンプ 東邦地下工機 BG-3B型

標尺 (m)	標高 (m)	深 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取		室内試験	削孔月日	
											深度—N値図		N	深 度 (m)	100mm毎の 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50 回の貫入量	自沈時の貫入量			深 度 (m)
	28.44	0.40	礫混じり砂	礫混じり砂		暗褐色			表土 礫含む砂質土 泥岩の風化土 風化著しく粗砂状～礫状となる 深度2.0mから全漏水	2/28 無し											
1									深度2.4m付近は岩片状コアとなる 全体的に破砕され硬軟を繰り返している		18	1.15	4	5	9	18	300				
2											50	1.45	18	32	50	180					
3						黒灰			岩級区分DL～DMで土工区分は、礫混じり土砂		35	2.33	10	12	13	35	300				
4											12	3.15	10	12	13	35	300				
5											15	3.45	4	5	3	12	300				
6	23.34	5.50							泥岩の風化岩 礫状～短柱状コアとして採取 亀裂の多い箇所は、コア形状を示し硬質であるが、多い箇所では風化が進行して軟質となる 深度7.3mから礫状となり、軟質となる 岩級区分はDH～DMと幅が広く概ねDHと判断する軟岩I		50	4.15	4	5	3	12	300				
7						黒灰					50	4.45	7	8	35	50	250				
8	20.94	7.90									50	6.15	7	8	35	50	250				
9	20.34	8.50				暗褐色			泥岩の風化土 風化著しく粗砂状～礫状となり脆弱である 岩級区分DL～DMで土工区分は、礫混じり土砂		21	6.40	7	8	35	50	250				
10	19.81	9.03				暗褐色			泥岩の風化岩 土丹状～礫状に風化する 岩級区分DHで軟岩I		50	8.15	5	8	8	21	300				
11											50	8.45	5	8	8	21	300				
12											50	9.00	50		50	30					
13											50	9.03	30		50	30					